

## 加津佐町



## 口之津町



大きな夢と情熱をもって  
市内765人が  
大人の「仲間入り」

### 【各町の成人者数】

|               |             |
|---------------|-------------|
| 加津佐町          | 111名        |
| 口之津町          | 71名         |
| 南有馬町          | 71名         |
| 北有馬町          | 58名         |
| 西有家町          | 118名        |
| 有家町           | 145名        |
| 布津町           | 87名         |
| 深江町           | 104名        |
| <b>南島原市合計</b> | <b>765名</b> |



成人式同日、口之津地区の新成人約60人が小学校時代に埋めたタイムカプセルを開封しました。

これは、旧口之津町の各小学校卒業生が記念植樹を行った際、白浜海水浴場の松林に埋めておいたもので、成人式を機会に過去の自分たちの思い出を掘り起こしました。



きつちりと保存されていたカプセルには、20歳の自分にあてた手紙や写真などがぎっしり。それぞれの思い出は風化することなく鮮やかに蘇りました。

現在専門学生の園田信介さんの当時の写真の裏には「夢は、世界一の料理人！」とありましたが、なんとこの春「福岡のホテルに調理人として就職予定です」と夢への第一歩が実現したことを笑顔で話しました。みんなの夢がかないますように。

拝啓、二十歳の自分へ…  
新成人(口之津地区)が  
タイムカプセルを開封



▲成人証書を受ける吉田祥子さん

新春を飾る南島原市成人式が1月4日、ありえコレジヨホールであり、参加した659名の新成人は、多数の来賓の前で大人への仲間入りを宣言。社会人としての自覚と責任を胸に、新たなスタートを切りました。

今回の対象者は、昭和62年4月2日から翌年4月1日までに南島原市(8力町)で生まれた765人が対象となりました。

式典ではまず松島市長が、新成人代表の吉田祥子さん(西有家町)へ成人証書を授与。



▲二十歳の誓いを発表する本多崇亨さん

また、来賓の久間章生衆議院議員は「南島原市を発展させるのは、人任せにせず、自分たちが担うという思いを持つてほしい」と激励しました。

「二十歳の誓い」では、まず本多崇亨さん(南有馬町)が、

式辞では「新成人としてスタートされる皆様に大きなエールを贈ります。時代の流れを的確に判断し、夢を持ち、信念を持って人生を切り拓いていってほしい」と述べるとともに、「みんなが主役 市民協働のまちづくり」を基本理念に、「太陽の恵みと世界遺産のまち 南島原」を将来像に掲げ、目標実現のために、積極的に推進していきます。

そのためには、市民皆様のご理解とご支援が、ぜひとも必要であり、若い皆様の情熱で、この南島原市を発展させてほしい。これからの南島原市の歴史を共に築いていきましょう」と期待の言葉で締めくくりました。



▲二十歳の誓いを発表する伊藤真由子さん

「熊本へ進学して一人暮らしをはじめ、両親の存在の大きさを感じました。これからは自分の人生を自分で切り開いていかなければなりません。これまで支えていただいた人たちに感謝しながら、地域・社会へ貢献できるように精進します」と力強く発表。

続いて、伊藤真由子さん(布津町)が「現在他県へ進学し、勉強にアルバイトにと慌ただしい日々を送っていますが、子どもを育てている友人もいます。今日の日本の状況はあまり良くなく、不安も多いです。生まれてくる子どもたちが安心して、力強く大きな希望の光へと成長できるような社会へしたいと強く思います」と願いを新たにしました。

式典終了後は記念写真をとったり、久しぶりに顔を合わせた同級生が輪になって「思い出話」に花を咲かせたりで、会場はいつまでも歓声が響き渡っていました。

